

08款	土木費	01項	土木管理費	01目	土木総務費	
事業名					復興道路整備促進事業費	単位：円
事業内容	復興支援道路及び国県道の整備促進のため、沿線自治体で構成している各期成同盟会の事務、各種要望活動を行う。			計画値	加入同盟会等 10団体	
	成果	各種総会に出席し、整備促進を推進した。 1 岩手県高規格幹線道路整備促進期成同盟会 2 国道340号整備促進期成同盟会 3 国道396号道路整備促進同盟会 4 大槌山田紫波線道路整備促進期成同盟会 5 岩手県道路整備促進期成同盟会 6 北上川ダム整備促進協議会 7 三陸地区国道協議会 8 岩手地区国道協議会 9 東北横断自動車道釜石秋田線、釜石・花巻間建設促進期成同盟会 10 「森と湖に親しむ旬間」岩手県実行委員会			実績値	加入同盟会等 10団体
予算額		決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
1,124,000	1,010,522	0	0	0	1,010,522	

08款	土木費	01項	土木管理費	01目	土木総務費	
事業名					国道107号休憩施設整備事業費	単位：円
事業内容	東北横断自動車道釜石秋田線宮守インターチェンジの供用開始により国道107号の交通量が増加していることから、防災拠点として位置づけられている「産直ともちゃん」をドライバー休憩施設として活用する。			計画値	ドライバー休憩施設設計	
	成果	ドライバー休憩施設の設計業務が完了した。 平成27年度に整備工事を予定しており、休憩施設の強化により道路利用者の交通安全と六次産業の活性化に繋がることが期待される。			実績値	ドライバー休憩施設設計
予算額		決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
5,000,000	4,644,000	2,600,000	0	0	2,044,000	

08款	土木費	02項	道路橋梁費	02目	道路維持費		
事業名		車両管理費				単位：円	
事業内容	良好な道路を維持管理するための道路維持作業車等を適切に整備し、老朽化が著しい車輛を適宜更新していく。 平成26年度は凍結防止剤散布車を1台購入し、適切な除雪を実施する。			計画値	凍結防止剤散布車購入 1台		
	道路維持作業車等の適切な維持管理を行った。 また、凍結防止剤散布車を1台購入し、適切な除雪に活用した。				実績値	凍結防止剤散布車購入 1台	
予算額	決算額	財源内訳					
		国県支出金	地方債	その他	一般財源		
27,630,000	26,615,023	0	16,900,000	0	9,715,023		

08款	土木費	02項	道路橋梁費	02目	道路維持費		
事業名		市道リフレッシュ事業費				単位：円	
事業内容	管理している道路施設が老朽化してきているため、計画的に道路施設を修繕し、安心安全な交通を確保する。 各路線の破損状況を調査して市全体の補修計画を立案するため、調査業務を平成26年度はL=190km実施する。			計画値	路面性状調査 L=190km		
	路面調査委託業務をL=204km実施し、補修計画の基礎資料を作成することができた。				実績値	路面性状調査 L=204km	
予算額	決算額	財源内訳					
		国県支出金	地方債	その他	一般財源		
5,000,000	4,946,400	3,214,000	0	0	1,732,400		

08款	土木費	02項	道路橋梁費	03目	道路新設改良費
事業名		道路新設改良事業費			単位：円
事業内容	<p>1 大工町駒木線 区間内の一部分が歩道未整備のため、通行車両及び歩行者の安全と円滑な通行確保のために歩道整備を行う。</p> <p>2 張山安居台線 河川改修事業に合わせて安居台橋の改良整備を行うため、幅員拡幅分を事業者の岩手県に費用負担する。</p> <p>3 宿野尻線 附馬牛町東禅寺地区の幅員狭小な民家連担部を拡幅改良し、快適な道路を整備する。</p>			計 画 値	<p>大工町駒木線 施工延長 L=220m</p> <p>張山安居台線 負担金 34,881千円</p> <p>宿野尻線 施工延長 L=314m</p>
	<p>1 大工町駒木線 支障電柱の移転補償に時間を要したことから、歩道工事は平成27年度に繰り越して実施する。</p> <p>2 張山安居台線 平成24～27年度の4カ年事業の3年目。岩手県と連携を取りながら事業を推進した。</p> <p>3 宿野尻線 幅員をW=5.0(6.0)mに拡げ、良好な道路を整備した。資材の供給が遅れたため、工事区間の一部を平成27年度に繰り越して実施する。</p>			実 績 値	<p>大工町駒木線 施工延長 L=0m</p> <p>張山安居台線 負担金 32,590千円</p> <p>宿野尻線 施工延長 L=157m</p>
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
103,700,000	59,929,843	36,627,000	21,200,000	0	2,102,843

08款	土木費	02項	道路橋梁費	03目	道路新設改良費
事業名		生活に身近な道づくり事業費			単位：円
事業内容	<p>当市は広大な面積を有し、集落が点在しているために市民に身近な生活道路整備が遅れている状況にあり、これらに関連する市民要望が多く寄せられている。</p> <p>また「市長と語る会」においても同様の課題や要望が寄せられたことから、「生活に身近な道づくり事業計画」を策定し、市民の生活基盤づくりを図ってきた。</p> <p>平成25年度に「生活に身近な道づくり（第4期H26～H28）事業計画」を策定し、社会資本整備総合交付金制度を活用して計画的に整備する。</p>			計 画 値	道路改良工事 9件
	<p>この事業は生活に身近な道路を整備する事業であり、整備効果がすぐに発揮されて住民の利便性向上となっている。</p> <p>なお、資材の供給が遅れたため、路線の一部を平成27年度に繰り越して実施する。</p> <p>【整備路線】</p> <p>1 早瀬町小平線 (L=181.4m) 2 早瀬町6号線 (L=154.7m)</p> <p>3 早瀬町8号線 (L= 51.3m) 4 矢崎荒屋線 (L= 65.9m)</p> <p>5 下道線 (L=184.3m) 6 大櫓線 (L=189.0m)</p> <p>7 大寺観音前線 (L=448.8m) 8 大寺西線 (L=150.0m)</p>			実 績 値	道路改良工事 8件
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
83,098,000	41,286,240	24,779,000	9,600,000	0	6,907,240

08款	土木費	02項	道路橋梁費	03目	道路新設改良費	
事業名					道路新設改良事業費（線越明許費）	単位：円
事業内容	<p>本路線は重要幹線道路であり、小学校、中学校の通学路とスクールバス路線でもあるが区間内の一部分が歩道未整備のため、通行車両及び歩行者の安全が確保できない状況である。通行車両及び歩行者の安全と円滑な通行確保のために歩道整備を行う。</p> <p>用地交渉に時間を要したため平成26年度に繰り越した。</p> <p>道路改良舗装工事 計画延長L=760m、歩道幅員W=2.5m、実施期間H24～H26</p>			計画値	施工延長	L=124.5m
	成果	<p>用地買収及び歩道設置工事L=127.8mを完了した。歩道未整備区間に歩道を設置したことにより、歩行者の交通安全と円滑な車両通行を確保した。</p>			実績値	L=127.8m
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
67,880,000	60,318,871	41,604,000	0	0	18,714,871	

08款	土木費	03項	河川費	02目	水路費	
事業名					生活に身近な水路整備事業費	単位：円
事業内容	<p>宅地化の進行により農業用水路に生活雑排水が流入して水質汚濁が進んでいる。さらに、小断面のために豪雨時には水路から越流し、市民生活に大きな影響を与えている。</p> <p>また、東北横断自動車道釜石秋田線建設に伴う山地からの雨水排水の流末整備が必要になってきている。</p> <p>そのため「生活に身近な水路事業計画（第3期H26～H28）」に基づき、市民生活に密着したこれらの水路を整備する。</p>			計画値	水路工事	8件
	成果	<p>水路整備により、市民の暮らしに安全・安心を確保して環境と人にやさしいまちづくりを行った。</p> <p>8件の工事を予定していたが、用地交渉が難航したため、下記1路線のみ実施した。</p> <p>【整備路線】 金ヶ沢水路（L=59m）</p>			実績値	1件
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
14,125,000	13,397,400	0	0	0	13,397,400	

08款	土木費	04項	都市計画費	01目	都市計画総務費	
事業名					都市計画マスタープラン策定事業費	単位：円
事業内容	<p>平成8年3月の策定から17年が経過した都市計画マスタープランの見直しを行う。 「新市まちづくり計画」の基本理念に基づき、都市の将来像や整備方針について市民の意見を反映させ、近年の産業構造の変化、少子高齢化及び人口減少等の社会情勢や高規格道路開通等の交通体系の変化への対応等、20年後を展望したまちづくりの方針を示すマスタープランとする。</p>			計画値	<p>地域別構想の検討 地区懇談会開催 策定委員会開催 パブリックコメント実施 計画書及びパンフレット作成</p>	
	<p>平成25年度にとりまとめた全体構想をもとに、地域別構想及び実現方策を検討した。有識者や各種団体の代表者からなる策定委員会を2回開催したほか、住民説明会やパブリックコメントを実施した際の意見を踏まえた(改定)都市計画マスタープランを作成した。</p>				実績値	<p>地域別構想及び実現方策の検討 策定委員会開催(2回) 住民説明会開催 パブリックコメント実施 都市計画審議会開催</p>
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
5,616,000	4,747,160	0	0	4,747,160	0	

08款	土木費	04項	都市計画費	02目	土地区画整理事業費	
事業名					稲荷下第二地区土地区画整理事業費	単位：円
事業内容	<p>中心市街地の周辺において、無秩序な宅地化が進行し、都市機能の停滞や生活環境の悪化をもたらしていることから、良好な住環境を形成する道路及び公園を計画的に配置し、有効的な土地利用と健全なまちづくりを進める。</p> <p>【全体概要】 施行面積 A=19.7ha 計画年度 H12～H33 都市計画道路 W=9.0～12.0m L=1,834.5m 区画道路 W=1.5～10.0m L=3,532.2m 公園 A=6,100㎡、建物移転戸数146戸</p>			計画値	<p>都市計画道路 330m 区画道路 110m 3号街区公園 1,600㎡ 駐車場整備 2,500㎡ 宅地造成 1.7ha</p>	
	<p>良好な住宅地形成のため道路工事や駐車場整備を実施し、安全で快適な住環境を整備した。 なお、土地区画整理事業の実施計画変更に係る国の認可に時間を要したほか、権利者との換地交渉に時間を要したことから、平成27年度に一部事業を繰り越して実施する。</p> <p>【整備内容】 都市計画道路整備 延長L=337m 駐車場整備 面積A=2,500㎡</p>				実績値	<p>都市計画道路 337m 駐車場整備 2,500㎡</p>
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
454,863,000	66,232,338	26,482,000	0	4,479,665	35,270,673	

08款	土木費	04項	都市計画費	02目	土地区画整理事業費	
事業名					稲荷下第二地区土地区画整理事業費（繰越明許費）	単位：円
事業内容	<p>中心市街地の周辺において、無秩序な宅地化が進行し、都市機能の停滞や生活環境の悪化をもたらしていることから、良好な住環境を形成する道路及び公園を計画的に配置し、有効的な土地利用と健全なまちづくりを進める。建物移転補償に不測の日数を要したことから、平成26年度に繰り越した。</p> <p>【全体概要】 施行面積 A=19.7ha 計画年度 H12～H33 都市計画道路 W=9.0～12.0m L=1,834.5m 区画道路 W=1.5～10.0m L=3,532.2m 公園 A=6,100㎡、建物移転戸数146戸</p>			計 画 値	<p>歩行者専用道路休息施設（トイレ） 1棟 区画道路 305m 幹線水路 78m 2号街区公園 2,163㎡ 上水道管敷設 221m 建物等移転補償 2戸 宅地造成 0.66ha</p>	
	<p>良好な住宅地形成のため、建物等移転補償を行いながら宅地造成や道路工事を実施し、安全で快適な住環境を整備した。歩行者専用道路休息施設、区画道路、幹線水路、2号街区公園、宅地造成、物件等移転補償2戸を実施した。</p> <p>【整備内容】 歩行者専用道路休息施設（トイレ） N=1棟 区画道路 延長L=307m、幹線水路 延長L=78m 2号街区公園 面積A=2,163㎡、上水道管敷設 延長L=245m 物件等移転補償 建物移転戸数 2戸、宅地造成 面積A=0.66ha</p>				実 績 値	<p>歩行者専用道路休息施設（トイレ） 1棟 区画道路 307m 幹線水路 78m 2号街区公園 2,163㎡ 上水道管敷設 245m 建物等移転補償 2戸 宅地造成 0.66ha</p>
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
231,037,000	226,369,091	62,333,000	0	0	164,036,091	

08款	土木費	05項	住宅費	01目	住宅管理費	
事業名					木造住宅耐震診断・改修支援事業費	単位：円
事業内容	<p>1 大規模地震発生の際に住宅倒壊等の被害軽減を図り、地震に強いまちづくりを推進するため、昭和56年5月31日以前に建築された戸建の木造住宅に対し、住宅所有者からの申込に基づき、県の認定を受けている市内の建築士事務所及び工務店に所属する耐震診断士を派遣し、木造住宅の耐震診断を実施する。</p> <p>2 耐震診断の結果に基づき耐震改修工事を実施する住宅所有者に対して改修費補助金を交付する。</p>			計 画 値	<p>耐震診断戸数 20戸 耐震改修戸数 5戸</p>	
	<p>耐震診断の実施により、住宅の地震に対する倒壊の危険性について把握することができた。広報紙や遠野テレビ等を利用しPRを行ったほか、事業者と連携し耐震診断・耐震改修制度の周知を行い、リフォーム工事補助等と併せて積極的な利用を促したが、計画値には及ばなかった。要因としては、耐震診断は耐震改修を前提にしており、耐震改修工事費用の自己負担が大きいという理由から診断・改修にいたるケースが少なかったと考えられる。</p>				実 績 値	<p>耐震診断戸数 4戸 耐震改修戸数 2戸</p>
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
1,358,000	1,357,428	1,008,472	0	12,000	336,956	

08款 土木費		05項 住宅費		01目 住宅管理費		
事業名		快適住マイル応援事業費				単位：円
事業内容	市民の快適な居住環境の整備並びに市内の住宅関連産業の振興及び商業を中心とした地域経済の活性化を促進するため、市民が住宅のリフォーム、水洗化、子供室の増築等の工事に要した経費に対し、商品券により助成する。			計 画 値	住宅リフォーム	50戸
					住宅水洗化	20戸
成果	住宅リフォーム、水洗化、子供室の増築等の工事費用の助成により市民の快適な居住環境が整備されるとともに、市内の工務店や商店等の経済活性化に寄与した。 申請者のうち、年度内の完了が見込めない6戸分について、平成27年度に繰り越して実施する。 【平成27年度への繰越戸数】 住宅リフォーム2戸、住宅水洗化3戸、子供室増築1戸			実 績 値	住宅リフォーム	35戸
					住宅水洗化	33戸
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
10,000,000	7,836,000	0	0	7,800,000	36,000	

08款 土木費		05項 住宅費		01目 住宅管理費		
事業名		被災住宅復旧助成事業費				単位：円
事業内容	東日本大震災により被災した住宅の早期復旧支援を図るため、市民が被災住宅の復旧工事に要した経費に対し、1/10かつ上限10万円の補助金を交付する。			計 画 値	募集件数	23件
成果	募集件数を上回る補助金の交付により、東日本大震災で被災した住宅の復旧に寄与した。			実 績 値	交付件数	35件
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
2,300,000	1,857,000	0	0	0	1,857,000	

08款	土木費	05項	住宅費	01目	住宅管理費		
事業名		生活再建住宅支援事業費				単位：円	
事業内容	東日本大震災により被災した住宅の早期復旧のため、市民または転居者へ住宅の建築等に要する借り入れの債務に係る利子及び被災住宅等の工事に要する経費に対し、補助金を交付する。			計画値	利子補給	4件	
	【補助基準】 1 被災住宅補修：対象経費の1/2かつ上限30万円 2 改修工事：対象経費の1/2かつ上限60万円 3 復興住宅新築バリアフリー対応：面積に応じ40～90万円 4 復興住宅新築県産材使用：立米数に応じ20～40万円 5 利子補給：5年間分の利子補給 6 宅地復旧：対象経費の1/2かつ上限200万円				被災住宅補修等工事	38件	
成果	東日本大震災により被災した市民及び市内に新築する沿岸被災者の復旧と復興に寄与した。 内訳は市内被災者37件、沿岸からの転居者16件の延べ53件。			実績値	災害復興住宅新築等工事	9件	
					利子補給	10件	
予算額		決算額		財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
18,000,000		16,255,000		16,255,000	0	0	0

08款	土木費	05項	住宅費	01目	住宅管理費		
事業名		快適住マイル応援事業費（繰越明許費）				単位：円	
事業内容	1 住宅改修分 平成25年度において大工等の技術者が不足したことなどにより、申請後年度内に改修工事を終わることが出来ない方がいたため平成26年度に繰り越した。			計画値	1 住宅改修分		
	2 太陽光発電分 国の住宅用太陽光発電導入支援補助金の交付決定が遅れ、年度内の完了報告が間に合わなかったため、平成26年度に4件繰り越した。				住宅リフォーム	6戸	
成果	1 住宅改修分 住宅リフォーム、水洗化、子供室の増築等の工事費用の助成により市民の快適な居住環境が整備されるとともに、市内の工務店や商店等の経済活性化に寄与した。			実績値	住宅水洗化	9戸	
	2 太陽光発電分 クリーンエネルギーの普及と地球温暖化の原因である二酸化炭素の排出量削減及び、地域経済の活性化が図られた。				2 太陽光発電分		
				申請件数	4件		
				交付件数	4件		
予算額		決算額		財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
2,407,000		1,971,000		0	0	1,971,000	0

08款 土木費		05項 住宅費		02目 住宅建設費	
事業名 公営住宅整備事業費					単位：円
事業内容	耐用年数が経過した一部の住宅を改修し、高齢者等生活弱者向けの公的住宅を整備する。 また、耐用年数が経過し空き家となった住宅を解体して安全確保を図るほか、八幡市営住宅の用地測量を実施する。			計 画 値	八幡市営住宅工事 改修 1棟5戸 解体 2棟8戸
					八幡市営住宅用地測量 解体予定地
成果	耐用年数が経過した住宅を全面改修し、高齢者等生活弱者が安全で、安心して生活できる公的住宅を1棟整備した。 また、耐用年数が経過し空き家となった住宅を2棟解体し安全確保を図ったほか、将来的な土地利用を検討するための用地測量を行った。			実 績 値	八幡市営住宅工事 改修 1棟5戸 解体 2棟8戸
					八幡市営住宅用地測量 解体予定地
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
46,600,000	45,851,400	16,434,000	0	5,137,000	24,280,400

08款 土木費		05項 住宅費		02目 住宅建設費	
事業名 公営住宅整備事業費（繰越明許費）					単位：円
事業内容	耐用年数が経過した一部の住宅を改修し、高齢者等生活弱者向けの公的住宅を整備する。 資材の確保等に時間を要したため、平成26年度に繰り越した。			計 画 値	八幡市営住宅工事 改修 1棟5戸
成果	耐用年数が経過した住宅を全面改修し、高齢者等生活弱者が安全で、安心して生活できる公的住宅を1棟整備した。			実 績 値	八幡市営住宅工事 改修 1棟5戸
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
25,738,000	24,300,000	12,150,000	0	0	12,150,000